

平成29年度 学校評価の概要

- 1 学校評価の実施状況
- 2 自己評価（教職員による評価）
- 3 保護者アンケート
- 4 児童生徒アンケート
- 5 外部評価（学校評議員による評価）

沖縄県立沖縄盲学校

平成29年度 学校評価の実施状況

学校名	沖縄県立沖縄盲学校
-----	-----------

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	42	3	21	69

※その他（実習助手、寄宿舎指導員、現業職員）

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	0	0				4

※その他（ ）

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	25	20	0				45

※その他（ ）

4 学校評価結果の公表方法等（該当項目に○、複数回答可）

自己評価	①ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他（
学校関係者評価	①ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他（

5 平成28年度の学校評価を踏まえ、平成29年度改善した点

①各学部と寄宿舎の連携を強化するため、学期に1回学舎連絡会を開催することとした。
②地域資源を活用した教育活動を推進した。（琉大風樹館、南風原町文化センター、南部農林高
③
④
⑤

6 平成29年度の学校評価で明らかになった課題

①エイズを含む性に関する指導について、年間を通した取り組みを推進する必要がある。
②「人権の日」の取り組みの充実を図る必要がある。
③PTA活動の充実を図る必要がある。
④家庭学習の定着を図る必要がある。
⑤学校環境の整備を推進する必要がある。

7 平成29年度の学校評価を活かした平成30年度の改善点

①12月のエイズ時関する学習だけでなく、性に関する学習会を実施する。（5月実施予定）
②「人権の日」を推進するため、昼の校内放送の充実と「人権だより」の発行に取り組む。
③より多くの会員が活動に参加できるよう、PTA清掃や学校行事に合わせた活動等の充実に取り組む。
④家庭と連携し、個別の教育支援計画を活用した家庭学習の定着を推進していく。
⑤創立100周年記念事業に環境整備を位置づけ、ビオトープを中心とした校内緑化を推進する。

2 評価方法

各項目ごとにその達成度を4段階で評価する。(自分の業務評価ではなく、学校全体として評価)

A: 達成できた B: ほぼ達成できた C: やや達成できなかった D: 達成できなかった

評価項目	番号	観 点	全体				※
			A	B	C	D	
1 教育目標	1	学習指導要領や本県の教育施策に応える教育目標になっている。	32	36	1	0	1
	2	教育目標の設定に当たっては、幼児児童生徒の実態を考慮して作成している。	32	36	1	0	1
2 教育計画	3	教育目標の実現に向けて教育課程の編成及び指導計画の作成をし、達成状況を評価している。	27	38	4	0	4
	4	教育目標の具現化に向けて各校務分掌の経営計画を作成している。	22	46	1	0	1
3 経営方針・重点目標	5	教育目標の具現化に向けて自校課題を明確にし、学校改善を図るよう学校経営方針を明示している。	21	46	2	0	2
	6	学校経営方針のもと、年度の重点目標については、教職員に徹底している。	17	44	8	0	8
	7	経営計画の作成段階で評価計画をもち、年度の重点目標の達成状況を点検している。	18	43	7	1	8
4 教育支援	8	「個別の教育支援計画」は整備・活用されている。	27	32	10	0	10
	9	全教職員の共通理解と協力のもと、センター校としての取り組みが図られている。	30	32	6	1	7
5 学部経営・学級経営	10	学校教育目標や重点目標、学部目標、学級目標の具現化を目指し、幼児児童生徒の実態を考慮して、学部・学級運営をしている。	31	36	2	0	2
	11	学校経営方針に沿い、学部内、学部間の連携を図りながら効果的な学部、学級経営をしている。	27	33	9	0	9
	12	学部・学級経営の評価を計画的に学部等で行い、常に改善・充実を図っている。	24	39	6	0	6
6 組織・運営・校務分掌	13	前年度の評価に基づき、自校課題に対応できる組織運営機構にしている。	20	45	4	0	4
	14	校務の分担は、分担内容・処理方法を明確にしている。	23	38	6	2	8
	15	校務は職員の能力、適正等を活かし、分掌相互の連携を密にしている。	18	43	8	0	8
	16	校務の推進にあたっては、学部主事・分掌主任を含む組織の機能を発揮し、円滑な体制のもとで進めている。	26	33	9	1	10
	17	職員会議の実施にあたっては、規程に基づいて適正に行っている。	28	37	4	0	4
	18	各分掌活動の資料・記録を適切にまとめ、評価を計画的に行い、改善・充実を図っている。	22	43	4	0	4
7 研究・研修	19	教育目標や重点目標の具現化に向けた研究(研修)主題を設定し、研究(研修)組織・内容・方法・時間等が適切な研究(研修)計画と実践がなされている。	29	36	4	0	4
	20	総合教育センター等各種公的研修会への積極的な参加のもと資質を高めるとともに、研修成果を教育実践に活かしている。	27	39	3	0	3
	21	研修活動の評価のもと、成果や課題を明確にして改善・充実を図っている。	21	44	4	0	4
8 文書処理	22	文書の作成・整理・保管等は規程に基づいて適正に処理している。	35	30	4	0	4
	23	事務職員との適切な連携のもと、文書処理のシステムを確立している。	37	31	1	0	1
	24	周知を要する文書・報告、研修会等の有益な情報は、職員に速やかに伝達・理解されるようにしている。	35	31	3	0	3
9 服務	25	校長の指導のもと、教職員の服務規律は遵守されている。	36	30	3	0	3
	26	職員個々が自覚と責任を持ち、校務を遂行している。	44	20	5	0	5
10 施設・設備	27	教材・教具を有効に活用し、使用後の整理や保管を適切にしている。	29	35	5	0	5
	28	校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切な安全管理をしている。	37	28	4	0	4
	29	施設・設備の解放等、「開かれた学校づくり」を進めている。	35	29	5	0	5
	30	適時、備品台帳の整備を行い、備品の登録及び廃棄等が適切に行われている。	24	38	7	0	7
11 家庭・地域社会との連携	31	教育目標や学校経営方針はあらゆる機会をとらえて知らせ、保護者や地域社会への願い等も的確に把握している。	24	41	3	1	4
	32	学校は、PTAと活動内容について、十分な打ち合わせを行っている。	15	45	8	1	9
	33	学校の教育目標の具現化に向けて、家庭・地域社会との連携・協力を図り、教育資源等の活用もしている。	21	44	4	0	4
	34	幼児児童生徒や学校の職員が、積極的に地域の諸活動に参加するよう促している。	15	41	13	0	13
12 経理事務・会計	35	幼児児童生徒から徴収した金銭の経理は、保護者負担の軽減配慮のもと、年間を通じ計画的に進めている。	41	27	1	0	1
	36	学校・学部・学級等の会計を正確に処理し、関係書類を適切に保管している。	41	27	1	0	1
	37	購入物品を適切に保管し、有効な利用をしている。	34	34	1	0	1
13 教育課程 (編成と実施の大綱)	38	今年度の重点目標と、前年度の教育課程の評価を踏まえ、学習指導要領の趣旨に基づき、適切に編成している。	33	34	2	0	2
	39	適切な授業時数確保のもとに、創意工夫を活かした特色ある教育活動が展開されている。	26	40	2	1	3
	40	幼児児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る道徳教育を、学校教育全体を通じて指導している。	23	42	4	0	4
	41	幼児児童生徒の言語環境を整え、言語活動が、適正に行われるよう、学校生活全体をとおして推進している。	24	39	5	1	6
	42	信頼関係や好ましい人間関係に根ざした学級経営の充実を図り、幼児児童生徒理解や生徒指導の充実を進めている。	29	39	1	0	1
	43	教材・教具の活用を計画的に行い、指導の効果を高める工夫・改善を行っている。	27	39	3	0	3
	44	「開かれた学校づくりの指針」を参考に、開かれた学校づくりを進めている。	26	39	4	0	4
	45	教育課程実施状況を点検・調整する機能体制を整え、改善充実を図っている。	23	40	6	0	6

		全体				※	
14 各教科・科目指導	46	学習指導要領に基づき、目標・内容・指導時数等を明確にした年間指導計画を作成している。	32	35	2	0	2
	47	全ての教科について観点別学習状況の評価基準を作成し、活用している。	21	42	5	1	6
	48	指導体制・指導内容・方法について自己評価を行い次年度に活かしている。	24	41	4	0	4
	49	指導内容の確実な定着を図り、視覚に応じた教材・資料等を提供し、個に応じた指導等を行っている。	29	37	3	0	3
15 特別活動	50	学級活動、LHR、生徒会活動などにおいて児童生徒が自ら現在および将来の生き方を考えることができるように工夫している。	22	42	5	0	5
	51	児童生徒の自発的活動が図られている。	25	38	6	0	6
	52	児童生徒会活動および学校行事については、年間、学期毎、月毎に適切な授業時数が充てられている。	26	38	5	0	5
16 総合的な学習の時間	53	学校行事は、行事間の関連や統合を図り、自然体験や社会体験などの充実が図られている。	24	39	6	0	6
	54	総合的な学習のねらいに沿い、児童生徒の実態等を踏まえた、目標・学習課題・身に付けさせたい力になっている。	22	42	5	0	5
	55	体験的、問題解決的学習を積極的に取り入れている。	25	38	6	0	6
	56	地域の教育資源を年間指導計画に位置づけて活用している。	16	44	9	0	9
17 自立活動	57	ねらい、目標、学習の課題、身に付けさせたい力に基づく「評価の観点」を作成し、活用している。	21	42	6	0	6
	58	幼児児童生徒一人一人のニーズに合わせ、指導の目標、指導内容を明記した「個別の指導計画」を作成し指導を行っている。	36	30	3	0	3
18 生徒指導	59	盲学校の自立活動として、学年、学部間の連携がとられ児童の発達段階に応じた指導がなされている。	28	34	7	0	7
	60	全体計画を作成し、学部教職員の組織的な連携体制のもと、組織的にいじめ不登校等へ適切な対応、計画的な指導をしている。	26	40	3	0	3
	61	家庭・地域社会・関係諸機関と連携し、幼児児童生徒の健全育成に向けた取り組みを行っている。	24	39	6	0	6
19 人権教育	62	生徒指導に関する研修を深め、教育相談などの児童生徒の抱える「悩み」等に対応できるようにしている。	20	41	8	0	8
	63	学校の教育活動全体をとおして推進している。	24	40	5	0	5
20 健康安全指導	64	年間指導計画及び全体計画を作成し、「人権を考える日」の取り組みを充実している。	17	38	13	1	14
	65	健康安全の推進体制を確立し、幼児児童生徒の実態に即した全体計画を作成し、指導目標や方針を明示している。	28	38	3	0	3
	66	生命の尊重や人権尊重を基盤に、エイズを含む性教育を系統的に進めている。	16	38	15	0	15
	67	防災訓練等を計画的に実施するとともに、「危機回避マニュアル」等を活用し、危機管理能力の向上に努めている。	35	31	3	0	3
	68	保健室の利用がしやすいように、工夫をされている。	38	30	1	0	1
21 進路指導	69	個に応じた望ましい食習慣の形成や、好ましい人間関係を育てる給食指導の工夫をしている。	39	29	1	0	1
	70	全体計画と年間計画を整備し、学年、発達段階に応じて、計画的、系統的に教育活動全体を通して指導している。	28	35	6	0	6
	71	幼児児童生徒の特性を踏まえ、望ましい職業観、勤労観を育む指導の工夫がなされている。	26	36	7	0	7
	72	就職、進学に関して関係諸機関との連携を深め情報を収集管理し、適切に提供している。	32	34	3	0	3
22 環境美化	73	就職後の指導について進路先を掌握し、就職後の定着化を目指し、後指導に努めている。	31	35	3	0	3
	74	学校の教育活動全体を通して、組織的・総合的・断続的に推進している。	28	35	6	0	6
23 スクールバス	75	家庭との連携を図り、全職員協力の下環境美化の充実を努めている。	28	32	9	0	9
	76	児童生徒の送迎において、バス部、保護者、担任の連携が十分に図られている。	29	40	0	0	0
24 給食	77	運転手、介助員と幼児児童生徒との関係は良く図られている。	34	35	0	0	0
	78	楽しい給食の工夫や、保護者・幼児児童生徒の要望等を取り入れる等、積極的に取り組んでいる。	44	25	0	0	0
25 図書室	79	栄養士と担任の連携が十分に図られている。	39	30	0	0	0
	80	幼児児童生徒が利用しやすいように、本の紹介や書架の整理等工夫されている。	43	25	1	0	1
	81	職員が利用しやすいように専門書、資料等充実している。	35	30	4	0	4
26 寄宿舎	82	図書の購入が計画的に進められ書架の充実が図られている。	35	34	0	0	0
	83	舎の行事は一人一人を活かし意欲的に取り組まれている。	35	32	2	0	2
	84	指導員と学級担任の連携はよく取れるように努めている。	28	38	3	0	3
	85	寄宿舎の生活全面にわたり、責任感、協調性を育成するよう良く指導している。	28	38	3	0	3
	86	施設・設備面の生活・学習環境は整えられている。	28	38	3	0	3
	87	余暇活動が充実するよう工夫されている。	30	38	1	0	1

自由記述（改善点を含めて記述いただければありがたいです）

2435 3178 379 11
40.6% 52.9% 6.3% 0.2%

- ・教職員が連携しやすい環境なので、分からないこと、困ったこと等があれば、先輩方に助言をいただきながら楽しく働くことができています。（小）
- ・年間を通して、行事が多い。授業ができないことが多く系統立てた学習指導が難しい。校務分掌検討委員会等で行事も検討をしてほうがよい。（高）
- ・生徒の安心安全が確保されていない。3階玄関を無理に通ることで通学の安全の確保が難しくなっている。（高）
- ・職員間の合意形成を十分に経ず、決定する事象が多々あるので改善してほしい。正面玄関からの登校決定は視覚障害に対する合理的配慮に欠いている（安心・安全への配慮が必要）。（高）
- ・校舎内の音環境の対策が未だなされていない（専門の調査により、残響音が大きく視覚障害環境に適していないことが明らか）。（高）
- ・一部、校務分掌や職員会議で決めたことを逸脱する動きがあり、特定の職員に負担が生じる懸念を感じています。（高）
- ・災害時の避難マニュアルがない。改築工事が一段落したので、この校舎での避難マニュアルを作成したほうがよい。（高）
- ・避難経路の通路がまだ未整備のため早めに対処してもらえたら助かります。（舎）
- ・舎生が迅速、安全に避難できるように、避難経路の整備を早急をお願いしたい。（舎）

平成29年度 保護者アンケート 沖縄盲学校

A「とてもそう思う」 B「ややそう思う」 C「ややそう思わない」 D「全くそう思わない」

		評価項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D	C+D
1	教育目標	子どもの実態等に即した適切な目標が設定されている。	13	12	0	0	25	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2		学校の子どもたちへの指導に満足している。	14	10	1	0	25	56.0%	40.0%	4.0%	0.0%	4.0%
3	教育活動の周知	学校でどのような教育活動が行われているかよく分かる。	11	14	0	0	25	44.0%	56.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4		学習内容や子どもの学校での様子等は、連絡帳や学級通信などで知ることができる。	17	8	0	0	25	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	教育活動	子どもは喜んで（楽しそうに）学校に行っている。	20	5	0	0	25	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6		子どもが、学校行事や学部行事等を楽しみにし、積極的に参加している。	15	9	1	0	25	60.0%	36.0%	4.0%	0.0%	4.0%
7	実態把握の適切性	通知票は子どもの学習内容が適切に評価できるように工夫されている。	16	9	0	0	25	64.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8		先生は、子どもの能力や努力を正しく理解している。	15	8	2	0	25	60.0%	32.0%	8.0%	0.0%	8.0%
9	教育相談機能	学校は、子どものことについて、適切に相談に応じている。	18	7	0	0	25	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10		子どもの心身の健康について、気軽に学校に相談できる。	19	6	0	0	25	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	進路指導	学校は、子どもの進路について、適切な指導を行っている。	14	7	2	1	24	56.0%	28.0%	8.0%	4.0%	12.0%
12	保護者との連携	学校は、保護者が授業参観する機会をよく設けている。	20	5	0	0	25	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13		学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうように努力している。	19	5	1	0	25	76.0%	20.0%	4.0%	0.0%	4.0%
14	保健・安全	学校は、子どもの健康増進に配慮した指導を行っている。	16	8	1	0	25	64.0%	32.0%	4.0%	0.0%	4.0%
15		学校は、子どもの安全や事故防止に配慮している。	19	6	0	0	25	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16	P T A活動	本校のP T A活動は活発である。	10	11	4	0	25	40.0%	44.0%	16.0%	0.0%	16.0%

ご意見コーナー（意見をご自由にお書き下さい）

256 130 12 1 399 64.2% 32.6% 3.0% 0.3%

○長年通学し、毎日、小さな一步の積み重ねで成長しています。親としてここまで成長できた事は、教師ひとりひとりの愛情をそそいでくれた事と教育のすばらしさを感じています。盲学校の教員のみな様が、障害があっても可能性の無限さを教えてくれました。感謝しかありません。

○子供の健康や行動などにもよく気づかりしていただいでいて「ありがたい。」のと、安心して学校生活を送らせていただいでいます。

○やはり毎日居る人、他の保護者などでも出来る人が毎回、している気がします。（P T A活動）

○いつもありがとうございます。

○重複児の進路に関しては、進路指導が新聞としてよく出されているが、視覚のみの障害児への夢をもたせる指導は、ないように思う。一人で自立し、普通に、将来が選べるようになるための人と人のつながりをもっと作ってほしい。そのために、学力の定着への工夫を行ってほしい。教材・教具、環境の整備は早くしてほしい。また、体育にてたくさんの種目を（四季）経験させてほしい。今年は、きめ細かい点字での本人がわかる手立てに感謝。

○いつも子供の様子や行動をよく教えていただき、家庭ではない事柄があると少しうれしく、先生方の指導がありがたいです。

○先生からは自立という言葉をよく聞きます。安全、安心があつてこそ自立だと思つてます。先を急ぎすぎず、力を貸しながら、成長させたいです。コミュニケーションで言葉はもちろんですがスキンシップにも注意した方がいいと思つています。見えなくて、ふいに触れられると怖いと思つています。思春期等も考える必要があると思つています。私もアイマスクをし、学校内、校外を歩く体験がしたいです。見えなくなつて2年です。安心感が一番だと思つてます。（怖くないぞという気持ち...）

児童生徒によるアンケート(平成29年度)

A: そう思う B: ややそう思う C: やや思わない D: そう思わない		小学部(4名)				中学部(5名)				高等部(11名)				合計(20名)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1	学校へ行くのが楽しい。	3	1			4	1			3	6	2		10	8	2	0
2	先生は、わたしたちの意見をよく聞いてくれる。	4				5				9	1	1		18	1	1	0
3	授業は、わかりやすく楽しい。	2	2			5				5	6			12	8	0	0
4	授業ではわかりやすく、ていねいに教えてくれる。	4				5				7	4			16	4	0	0
5	先生は、よくほめてくれる。評価してくれる。	2	2			5				6	4	1		13	6	1	0
6	先生に、悩みごとなどなんでも相談できる。	2	2			2	3			4	4	3		8	9	3	0
7	先生は、秘密をきちんと守ってくれる。	2	2			5				4	6	1		11	8	1	0
8	家庭学習の習慣が身についている。	4				2	2		1	2	6	1	2	8	8	1	3
9	先生は、進路のことについて情報を提供したりよく話してくれる。	3		1		4			1	6	4	1		13	4	2	1
10	私の学級は楽しい。	4				5				6	3	1	1	15	3	1	1
11	文化祭、運動会、宿泊学習などの学校行事は楽しい。	4				4	1			5	4	1	1	13	5	1	1
12	生徒会活動に、積極的に参加している。	3	1			1	2	2		3	3	4	1	7	6	6	1
13	社会見学や就業体験などで地域に出て学習する機会がある。					4	1			5	4	2		9	5	2	0
14	地震や火事のと看、どうすればいいか、よく知らされている。	4				5				7	3	1		16	3	1	0
15	他の学校や地域の方々と交流する機会がある。	4				4	1			3	4	4		11	5	4	0

(小学部)

- 二階でチャイムが聞こえない時があるので、ちゃんと聞こえるようにしてください。
- アニマル広場には、ジャングルジムとうんていがあればうれしい。あと、運動場にトイレがあればいい。
- 休み時間を長くしてほしいです。

(中学部)

- 先生に対して、もう中学生だし、あまり抱きついたりしてほしくない。
- まわりのみんなに色々教えながら(小学部生とか下級生とか)頑張っていきたい。
- 適切な距離感で接してほしい。近い時がある。中学生だから、人との適度な距離で関わることを勉強したい。

(高等部)

- 国際交流をして欲しいです。
- おしゃべりや無駄口が多い。
- 教室のエアコンが効かない。温風が出る。(3)
- Wifiを共有させてほしい。i-padの支給、タブレットの使用訓練がしたい。
- 運動会の際に、医療機関がNGと言っている協議に練習とはいえ、危うく参加させられそうになった。その際に担任の先生が止めてくれたので良かった。ひとりひとりの障害特性を理解してとまでは言わないが、やりたくてもできない人の気持ちを少しはわかってほしい。

平成29年度 沖縄盲学校 外部評価(学校評議員による評価)

学校評議員	平良 恵忠	沖縄盲学校同窓会 副会長
	豊里 隆史	真地団地自治会 会長
	花木 繁仁	イオン琉球株式会社 マックスバリュート日橋店 店長
	大沼 直樹	元琉球大学教育学部教授

学校経営基本方針の説明、各学部授業参観、各学部の教育活動紹介や教職員による自己評価、児童生徒・保護者アンケートの結果などを踏まえ、以下の6項目について学校評議員による評価を行った。

すべての項目で「十分」、「ほぼ十分」との回答が多くなっているが、4 本校の環境美化で、「やや不十分」を1名が選択している。

校舎改築後のビオトープを中心とした校内緑化を計画的に推進していく必要がある。

1～6の各項目について、「A:十分、B:やや十分、C:やや不十分、D:不十分」のいずれにか○印を記入し、評価して下さい。

NO	評価領域	評価				感想・意見等
		A 十分	B やや 十分	C やや 不十分	D 不十分	
1	本校の教育目標 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	1	3			本県唯一の視覚障害専門の学校ですので、専門性に基づいた教育方針を分かりやすく伝えています。特に幼児教育については個々の実態に応じて作成されています。
2	本校の教育実践 学校は教育課題について適切に取り組んでいる。	2	2			児童生徒の重度重複化・多様化という実態の中で、皆さん本当によく頑張っていると思います。 障害の幅の広さへの専門性のさらなる向上を期待しています。
3	本校の健康・安全 学校は健康・安全教育に取り組んでいる。	2	2			
4	本校の環境美化 学校は校舎内外の環境美化に取り組んでいる。	2	1	1		
5	本校の進路指導 学校は適切な進路指導に取り組んでいる。	2	2			
6	本校のPTAや地域との連携 学校はPTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	2	2			